

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		放課後等デイサービス ぶれみあむ原		公表日 令和 7年 3月 31日			
		チェック項目		はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
		環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	○		
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、 職員の配置数は適切であるか。	○		・規定以上の職員を配置している。	・職員の急な休みに対応することが難しい。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障がいの特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	○		・トイレに手すりを設置したり、部屋の段差をなくしたり構造化は工夫している。二階に事業所があるため階段があるが、手すりを設置し職員が先に降りるなどの配慮をしている為、階段での事故やケガは起こっていない。	・職員間での共有を図り、危険な場所がないか考えながら支援し、常に疑問や改善案が出るような状況にしていきたい。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	○		・時間を決めて朝、夕必ず清掃を行っている。(事業所、送迎車)	・子どもの身体に合わせて机、椅子なども定期的に見直していきたい。	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	○		・子どもの状況により個室対応が必要な場合はすぐに使用できる状態にしている。	・クールダウンしたい時には伝えて移動できる旨児童にも日頃から伝えている。	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	○		・その日出勤の職員でミーティングを行い、意見交換や子ども個々人に対する目標、課題と振り返りを行っている。	・長期休みの際は子どもたちが一日いるため、ミーティングの時間がどうしても短くなってしまふ。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		・保護者の意向を聞き出し、改善を図るため無記名で返信用封筒を同封するなどして意見しやすいようにしている。		
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		・定期的な職員との面談や研修等で意見を交換し合えるよう努めている。	・意見があったものに対して業務改善出来ない場合がある。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		○	・役員が評価結果を確認、保護者の意向や現状を把握し改善するところがある場合は業務改善を図っている。		
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	○		・毎月事業所で研修を行い、起こっている問題を共有するなどして職員全員で取り組んでいる。		
適切な支援の提	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	○		・保護者に配布し、HPにて公表している。保護者会を行い、説明も行った。	・HPで掲載していることを伝えているがまだまだ認知度が低い為、今後も伝えていく。	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	○		・職員全員で毎日子どもの様子を記録し、保護者にも共有。直接会い、課題やニーズを確認し計画を作成している。		
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	○		・職員を交えて子どもの課題や日々の様子を話し合い、保護者と利用者本人の意思を尊重した計画の作成に努めている。		
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	○		・支援開始前に計画を確認し、それに沿った支援を行っていたか、日々記録に残し、ミーティングでも話している。		
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	○		・毎日ミーティングを行い、子どもたちの日々の行動など記録している。		
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	○		・ガイドラインに沿って支援内容の作成を行っている。具体的にどのように支援を行っていくのか職員でミーティングし反省や課題に基づき計画を立てている。	・職員全員でガイドラインを理解、共有していく。	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	○		・年間プログラムを基盤として、チーム全体で立案を行っている。	・日々の記録、反省と次の課題に向けてチームでミーティングを行い、立案している。	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	○		・職員で話し合い、年間統一した支援内容に沿ってプログラムの内容を作成している。		

供	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	○		・個別活動、集団活動を組み合わせ計画を作成し、支援を行っている。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	○		・支援開始前の打ち合わせはその日の職員で必ず行っている。役割分担の確認を紙面で行いチームで支援している。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	○		・ミーティングで職員間の共有を図り、振り返りや疑問点、課題等を話しあっている。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	○		・個人支援内容を記録に残し、個々人に合わせた課題や支援方法の改善等ミーティングを行っている。	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	○		・6か月ごとにモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直し判断をしている。	
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	○		・4つの基本活動を組み合わせ本人の様子と保護者の意向等まじえて支援を行っている。	
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	○		・発語の難しい児童に対しては、絵カードや○×のカードを使用するなどして自己表示ができるように工夫している。	
関係機関や保護者との連携	26	障がい児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	○		・基本的には児童発達管理責任者、もしくは担当職員が出席するようにしている。	・時間や場所、複数重なった場合など、やむを得ない時は書面にて行っている。
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障がい福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	○		・発作のある子どもたちのかかりつけ医を保護者に確認している。また提携医療機関を設け、相談等できる環境を整えている。	
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	○		・学校のHPで毎月の行事や下校時間を確認している。また学校職員と送迎時の受け渡しの際などに児童の情報交換を行っている。	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	○		・現在、保育所やこども園などから新しく通所する児童はいないが、今後新入生が通所する場合は情報共有に努めたい。	
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障がい福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	○		・書面や担当者会議に出席するなど、情報の共有をしている。	
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	○		・現在は行っていない。	
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	○		・地域に呼びかけたり、草むしりに参加したりしている。子ども同士と一緒に活動する機会はない。	・地域参加をしたくないという保護者の意見もあるが、積極的に地域活動には参加していきたいと思う。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	○		・現在は参加していない	・今後について検討していきたい。
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	○		・毎日の送迎時に保護者の相談を受けたりニーズや課題について話をしたりしている。	
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	○		・ペアレントトレーニングは行っていないが、新聞やHPなどで情報共有は図っている。	・保護者の意向に沿えるよう研修などの要望があれば検討していきたい。
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	○		・契約時、時間を設け説明は必ず行っている。	・不明点がないか毎回確認し、保護者が安心して預けられる環境を整えていきたい。
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	○		・保護者へのモニタリングを踏まえ、子どもの意向や保護者のニーズに沿った支援を行うようにしている。	
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	○		・説明を行い、同意を得ている。	
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	○		・その都度電話や対面にて保護者の相談には応じている。	・24時間繋がる電話番号を保護者に周知し、緊急の場合でも相談ができる環境を整えている。

保護者への説明等	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	○		・父母の会の活動は行っていないが、保護者会は一年に1回行い、保護者同士が集まる機会は設けている。	
	41	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	○		・苦情対策委員会を設置しており、保護者にも周知している。苦情が入った際すぐに対応できるような体制を整えている。	
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	○		・毎月事業所の新聞を発行し、保護者に様子を伝えると共にHPも公開している旨保護者にも周知している。	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○		・個人情報に記載されている書類は鍵付きのキャビネットで保管し、書類が必要な際は取り扱いに十分注意して使用している。	
	44	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	○		・絵カードや○×カード、簡単なサイン、手話を用いるなど、子どもの特性に応じて意思伝達方法を変えている。	
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	○		・地域住民を招待するなどの活動は現在行っていない。地域の学生がボランティア活動の場として来る事はあった。	
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	○		・保護者会でマニュアル文書を配布したり、質問があると口頭で答えたりしている。	・職員がいつでも確認できるようファイリングし、研修にも役立てている。
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	○		・毎月1回の避難訓練は子どもたちを交えて必ず行っている。また業務継続計画は策定し職員でも研修を行っている。	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	○		・契約時、てんかん発作やアレルギーなどがなければ必ず確認している。また特定の医療機関がないかや、発作時の対応なども確認している。	・職員間で発作時の対応も共有している。
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	○		・契約時、必ず保護者に確認し、発作時の対応について職員で周知している。	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	○		・安全計画を作成し、研修を行い、職員間でも共有している。	・もしもの時を想定して研修は今後も行っていきたい。
	51	子どもの安全確保に関して、家族等との連携を図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	○		・保護者会にて保護者にも資料を配布し、周知している。	・質問があった際は職員がすぐ受け答えできるよう定期的な研修は行っていきたい。
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	○		・毎月必ず事業所内で共有し、会議にて今後の対策や課題を話し合っている。	・危険予測をしつつもし起こった際は迅速に対応し、改善を図りたい。
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	○		・虐待防止委員会を設置し、定期的に全員で研修を行っている。	・職員全員で意識を高め、虐待防止に取り組んでいきたい。
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	○		・契約時に保護者に説明している。定期的に研修を行い、身体拘束について職員間で話し合っている。	・定期的な研修は今後も行っていきたい。	